

新型コロナウイルス感染症防止対策ガイドライン

神戸教区の聖職・信徒の皆様へ

救主降生 2020年5月31日 聖霊降臨日
新型コロナウイルス感染症対策室

日本政府は、4月16日に出された全国への緊急事態宣言を5月25日に解除しました。しかし、新型コロナウイルス感染症は終息しておらず、また有効な治療薬やワクチンなどの医療態勢も、安心して社会生活をおくることのできる状況にはありません。諸外国では、教会の礼拝によって集団感染を起こした事例もありますので、十分な注意をもって礼拝の準備をお願いいたします。

わたしたちの神戸教区では、3月30日に策定したガイドライン「礼拝における新型コロナウイルス感染症防止対策のお願い」を改訂し、感染防止対策の新しいガイドラインとして、教区内各教会の皆様にご注意をお願い申し上げます。今後も政府や専門家会議の発表、教育機関などの社会的な状況も踏まえ、感染防止のための対策を十分に配慮するという条件の中で、礼拝を段階的に再開することをお願いいたします。

なお、広範囲にわたる神戸教区の各教会では、それぞれが置かれた地域の状況は異なっており、全教会に同様の処置を行うことは適切ではありません。以下に記している感染予防対策は、基本的なガイドラインですので、詳細については教会ごとの対応をご検討していただきますように、よろしくお願いいたします。また、教会施設内でも感染防止のために十分な衛生管理を行ってください。教会は「命を大切にすること」を第一に考え、公益法人としての社会的な責務に答えられることが求められていますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。

このガイドラインは、新型コロナウイルス感染症の脅威が続いている間はご利用ください。

○下記の三つの条件「3密」がそろう場所が集団感染発生の可能性が高いと指摘されています。

1. 換気の悪い密閉空間
2. 多数が集まる密集場所
3. 間近で会話や発声する密接場面

【新型コロナウイルスの感染防止のために、教会は以下のことに注意してください。】

1. 礼拝に出席される信徒の皆様へ

* 下記の方またはご家族におられる方は自宅で静養をお願いします。絶対に無理をしないでください。

①体調がすぐれない方。②発熱のある方。③咳や熱、倦怠感など風邪の症状の方。

また、礼拝中に上記のような症状が出た方も退席をお願いします。

* 日曜日の礼拝が複数回行われる場合、例えば10時30分に行われる礼拝は混雑することが予測されますので、他の時間帯の礼拝に出席してください。

* 教会に来られた方は、石鹸や消毒液などで手洗い・消毒を必ず行ってください。

* 平和の挨拶は、会釈や手を振るなどの接触しない挨拶をしてください。

* 献金は、接触機会を減らすために献金箱やお盆などを利用してください。

* パンとぶどう酒は、事前にグリーデンス・テーブルに置くなどしてください。

* 陪餐される場合は、陪餐直前に教会備え付けの消毒液で手のひらを消毒してください。

* 礼拝の中で陪餐を行っていても、個人の判断で陪餐されなくても支障ありません。

* 礼拝中は、必ずマスクを着用してください。ただし、水分補給など熱中症対策を心がけてください。

* 咳エチケットをお願いいたします。

* ウイルスに感染された方や濃厚接触者となった方は、教会牧師にお知らせください。

* 感染の危険性があるため、必要なもの以外に手で触れることは避けてください。

2. 礼拝奉仕をされる皆様へ

- * 司式・補式する教役者が発熱した場合は、教区主教に報告し、司式者の代わりの教役者又は信徒がみ言葉の礼拝などを行ってください。
- * 司式者・補司式者、サーバー、オルター・ギルドなど、ご聖体や用具を取り扱う方は、礼拝の前後や奉献・分餐時に、手洗いや消毒などをお願いします。
- * ご聖体を取り扱う際は、小さな tong (ピンセット) やビニール手袋を使用してください。
- * 礼拝の準備・後片付けは、基本的には聖職が行ってください。
- * 司式者・奉仕者も礼拝中は、必ずマスクを着用してください。
- * マスクを持参するのを忘れた方のために教会でマスクを用意し、着用を求めてください。
- * 礼拝の案内係の方は、来会者に十分な説明と誘導をお願いいたします。
- * 複数のオルガニストが交代して奏楽する場合には消毒をお願いいたします。

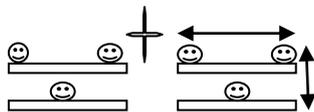
3. 礼拝以外の諸集会について

- * 必要な会議はメールなどを活用したり、集まる場合は感染対策を十分に整えてください。
- * 会食を伴う集会の自粛は、感染状況をみて段階的に再開してください。
- * 教会施設内での会話も手短かにしてください。
- * 礼拝に限らず人が集まる所では必ず換気をして、極力短時間にすることを検討ください。

4. 牧師・教役者、教会委員会の皆様へ

- * 感染防止のためのマスク着用のために、水分補給や冷房などの熱中症対策に配慮してください。
- * 1日の礼拝の回数を増やして信徒が分散して出席できるようにする方法も検討してください。
- * 公共交通機関を利用して礼拝に出席する信徒には、礼拝時間を早朝などに変更して、感染リスクを少なくするなどの方法を検討してください。
- * 陪餐を行う場合でも、個人の判断で陪餐を希望されない方に陪餐をすすめたりしないなどの配慮をお願いします。
- * 感染状況が高いと判断される地域の教会の礼拝では、基本的に陪餐を行わない聖餐式（聖餐式のみ言葉部分、み言葉の礼拝）を行ってください。陪餐を行う場合でも、接触感染の可能性が高い二種陪餐ではなく、一種陪餐またはぶどう酒を垂らしたパンを拝領してください。
- * 陪餐者には、陪餐直前に教会備え付けの消毒液による手消毒を促してください。
- * 礼拝時間は、長時間にならないことが望ましく、30分から1時間以内に終了してください。
- * 来会者が署名をする場合は、筆記用具による感染防止のために手消毒を行ってください。
- * 聖堂入口には手指消毒用アルコール等を設置して、教会に来られた方には消毒を促してください。
- * 案内の担当者にも、教会に来られた方の手洗い・消毒を促すように伝えてください。
- * 聖堂入口だけでなく、司式者・奉仕者と陪餐者用にも複数の場所に消毒液等を設置してください。
- * 礼拝前後は窓を開けて換気をしてください。できれば、礼拝中も換気を心掛けてください。
- * 礼拝中は、できるだけ前後左右の人との座る間隔（1~2m程度）をあけてください。

着席例



- * 礼拝では、飛沫感染の可能性があるので、できるだけ詩編の交唱は行わず、聖歌・チャントも歌わず、奏楽のみとしてください。
- * 祈祷書や聖歌集など不特定多数が共用するものは、衛生管理に努めてください。共用の特祷日課集もできるだけ使わずに朗読を拝聴するか、別刷りや除菌をお願いします。
- * 献金の集計作業の後も、手洗いや消毒を心がけてください。
- * 茶話会などが当面ありませんので、水分補給などの熱中症対策を呼びかけてください。
- * 私宅・病床での sacrament 等は、緊急性がある場合を除いて延期してください。
- * 教役者及び家族が、感染した場合の教会の対応についても教会委員会などで話し合ってください。
- * 常に新型コロナウイルス感染症の情報に注意し、感染状況に対応して行動してください。

※ 新型コロナウイルスに関する最新の情報は、下記からご確認ください。

- * 厚生労働省 <https://www.mhlw.go.jp/index.html>
- * 日本聖公会管区・他教区 <http://www.nskk.org/>
- * 神戸教区 <http://www.nskk-kobe.org/>